

表紙のことは

季節の作品作りメンバー 『小平神社』

小平中央リハビリテーション病院では、季節に応じたテーマで毎月集団作業療法にて季節の作品作りを行っています。今回のテーマは「小平神社」です。七五三の子どもたちが小平神社で参拝している風景を表現しています。回復期・療養病棟に入院しているさまざまな疾患の患者様十数名で1つの作品を制作しました。入院中でも初詣ができるようにと、当院に毎年、年始に飾っている小平神社が作品内に登場しているのもポイントです。普段のリハビリには受動的な方や、1対1での訓練では言葉や表情の表出の少ない患者様が、集団の中で作品作りに参加することで、いつもとは違う主体的な反応を見せたり、患者様同士の交流が生まれたりしています。季節の作品作りが、患者様の余暇活動や役割活動となり、普段の病棟生活でも活気のある生活を送れるよう目指しています。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



鹿屋 亮太 『はつきよい!!』

亮太は、幼いころから相撲観戦が大好きで、現役力士の名前を尋ねると嬉しそうに答えることができていました。そうした思いを作品に込めることができて本人も嬉しそうです。(父)